

こんにちは

白子の議会

です

第153号

令和6年6月6日

編集発行

千葉県白子町議会

☎0475(33)2169



小学校適正配置等に関する保護者・住民との意見交換会の様子

令和6年第1回臨時会(4月8日)

🕒 専決処分の承認に関して 2ページ

🕒 一般会計補正予算に関して 3～6ページ

令和6年第1回白子町議会臨時会が4月8日に開催

特に議会に提出する案件が生じたときなど、必要に応じて開かれる議会を「臨時会」と言います。

今回の臨時会では、専決処分の承認案件2件と一般会計補正予算の予算案件1件が議題となりました。

- 承認第1号 専決処分事項の承認を求めることについて
(白子町税条例の一部を改正する条例の制定)
- 承認第2号 専決処分事項の承認を求めることについて
(白子町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定)
- 議案第1号 令和6年度白子町一般会計第1回歳入歳出補正予算について

各議題に対して、議員から質疑があり、当局の答弁を求めました。

また、表決を行う前に議題に対して賛成又は反対の意見を述べる討論が交わされましたので、今号は特に討論に注目してお知らせします。

なお、結果として、承認第1号及び承認第2号は原案のとおり承認され、議案第1号は否決されました。

令和5年9月に制定された町議会基本条例の趣旨にのっとり、町民の負託に応えるため、町議会議員は誠実に活動していきます。

令和6年第1回臨時会が開催され、議会議員が各案件に対して、それぞれの意思を表明したので、今回はその意思表明である討論に焦点を当てて振り返ります。

承認第1号

専決処分事項の承認を求めることについて
(白子町税条例の一部を改正する条例の制定)

質疑、討論がありませんでした。

承認第2号

専決処分事項の承認を求めることについて
(白子町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定)

質疑、討論がありました。紙面の都合、質疑は省略し、討論を掲載します。

反対 市川 隆子 議員

私は本案に反対の立場から討論します。

賦課限度額引き上げについては、高額所得者に応分の負担をお願いすることで低所得者の負担を少しでも軽減するためと国は説明しています。

しかし、物価は上がり自営業者も資機材など様々なものが値上げされています。

雇い主負担のない国保は、全国知事会でも求めているように、やはり国が補助を増額して国保税の負担を軽減すべきと考えます。

以上のことから本案には反対します。



議会だより「白子の議会」でもそうですが、議会で使われている言葉や用語は分かりにくいものが多いです。その中の少しですが、今回話題となったものを説明します。

専決処分 (せんけつしよぶん) …議会が議決すべき事項を時間的に待てない緊急な場合などに、町長が代わって意思決定することをいいます。専決処分をした後は、議会に報告し承認を求める手続きが必要です。

討論 (とうろん) …会議で議題となっている案件に対し、賛成か反対かの意思・意見を表明することをいいます。

白子町小学校適正配置等検討委員会
から提出された最終答申

令和6年1月10日

白子町教育委員会教育長 御開 正二 様

白子町小学校適正配置等検討委員会

委員長 柳田 充克

白子町立小学校の適正配置に関する具体的な方策について（最終答申）

令和4年5月27日の「白子町小学校適正配置等検討委員会」において、諮問のあった標記の件について、下記のとおり答申いたします。

記

1 主旨

我が国全体の人口問題に視点を当てると、2008年（平成20年）をピークに人口減少局面に入っています。また、年少（0～14歳）人口についても、1980年代初めの2700万人規模から減少を続けており、2060年にはおよそ791万人になることが推計されます。これらの背景の下、小・中学校が過度に小規模化したり、教育条件への影響が出たりすることが懸念されています。

本町においても、人口減少、出生数低下が著しく、令和3年度の出生数は、町全体で29名と減少しております。そこで、令和4年5月に「白子町小学校適正配置等検討委員会（以下「検討委員会」という。）」が発足し、小学校の配置について検討を重ねてまいりました。

本答申は、子どもたちの教育環境を最優先に考えて審議した結果として、白子町立小学校の適正配置について答申するものです。なお、審議にあたっては、文部科学省の定めた「小学校適正規模」、「白子町の年度別出生数」を踏まえ、「学校視察」、「保護者アンケート」及び「意見交換会」等を実施し、様々な見地から慎重に検討を行い、この最終答申に至りました。

2 具体的な小学校配置案について

- 白子町の小学校配置は、現在の3校を統合して、1校にするべきだということになりました。

(1) 理由

- ・現在3校とも、各学年1学級だが、児童の減少により、2029年（令和11年）には、2学年が一緒のクラスになる複式学級になることが危惧されるため、複式学級は回避したい。

- ・3小学校の施設が老朽化しており、改修には、多額の費用が必要になる。

(2) 統合時期

- ・複式学級になることが危惧される2029年（令和11年）以前が望ましい。

(3) 使用校舎・場所

- ・校舎は、津波等の被害を受けにくい場所で、3階建以上の新築校舎。
- ・町の中心部。

【付帯意見等】

- ・白子町として魅力ある学校教育ができるように、計画的に教育環境を整え、充実させること。
- ・小中一貫教育を視野に入れ、中学校敷地内に校舎を建設すること。
- ・現在のきめ細やかな指導体制を維持するために、教員だけでなく、支援員等の配置を充実させること。
- ・津波対策、道路整備等の安全対策を講じるとともに、白子町立小学校独自の安全マニュアルを作成すること。
- ・スクールバス等の通学手段を整備するとともに、バスロータリーや保護者駐車場を確保すること。
- ・統合して、廃校となった施設や跡地利用を十分考慮すること。
- ・保護者や地域住民の意見を十分に尊重すること。

議案第1号

令和6年度白子町一般会計第1回歳入歳出補正予算について

質疑、討論がありました。紙面の都合、質疑は省略し、討論を掲載します。

反対 酒井 良信 議員

補正予算案に反対の討論をさせていただきます。まずはじめに、私は統合問題は賛成の立場であります。マスコミ等で反対報道がされていますが、非常に遺憾であります。

小学校の統合問題は、教育の分野では白子町誕生以来の最も重要な課題であるにもかかわらず、町民にも議会にも十分な説明もされないまま進められてきました。

意見交換会は100席の椅子を用意しても1回あたり10名程度の参加しかなく、議会へも具体的な説明はほとんどなく、構想の全体像がみえません。

議会軽視であります。

本来、教育委員会が主体で議論が進められるべきものを企画財政課がこの問題を進めてきたことは、教育委員会も軽視しております。

きちんとした構想もなく、補助金申請までに時間がないからと言って設計業務委託費を組むことになり、あまりにもずさんで住民の意見が反映されないことになります。

3小学校の老朽化を言うならば、中学校の方が建設が古く老朽化が進んでいます。もつと言えば、地震が多発している中、防災拠点である役場庁舎の耐震性も問題があります。

当然、こどもの増える施策にもつと予算を組むべきであります。限られた財政の中で、その使い方にも問題があると思います。

以上の理由から今回の提案の補正予算には反対いたします。

議員各位の賛同をお願いいたします。

いたします。

賛成 宗島 理仁 議員

私は令和6年度白子町一般会計第1回歳入歳出補正予算に賛成の立場から討論いたします。

3月13日に行われました議会定例会の際にも申し上げましたが、今回の補正予算で計上された小学校建設事業における小学校設計業務委託料1億2千万円については令和6年度に策定予定の小学校建設に関する基本方針及び基本計画案に密接に関係しており、どちらが



白子中学校

欠けても小学校統合に関して遅れが出ると強く懸念されるものです。

そもそも学校に通学して学ぶ意味とは、昔から読み書きそろばんと言いますが、学校には読み書きや計算、各教科の学習を通じて、知識や技能を習得するという大切な役割があります。

その一方で、教育の目的が人格の完成であると考えたときに、学校には最も大切な役割があります。

それは多様な価値観を持つ多くの子どもたちが、学校生活を通じて集団で話し合い、励ましあいながら学ぶことで、思考力、判断力、表現力を身に付け、社会性や人間関係を形成する力を育む場としての役割です。この集団で生活し、学びあうことそのものが学校に通学して学ぶ意味の本質ではないでしょうか。

しかしながら、近年の急速な少子によって児童数の減少が進んでいることに加え、学校施設の老

朽化が課題となっている白子町において、集団の中で多様な考え方に触れる機会や学びあいの機会、切磋琢磨する機会が失われています。

それは先日もし上げた白潟小学校で起きていることであり、実際に男女比の偏りが生じています。また、授業参観で児童の様子を見てみると、学習の成果発表は児童数が少ないために児童から多様な発言が引き出しにくく、授業展開に制約が生じ、班活動やグループ活動に制約が発生していることを実際に目の当たりにしています。このように時に学校統合の議論を未来の子どもたちにより良い教育環境を作る機会と考え、教育環境を刷新していくことが必要です。

更に小学校統合後、廃校施設は白子町にとって貴重な財産であることから地域の実情やニーズを踏まえながら有効活用していくことが求められます。



白子中学校 校歌

現在、国民体育館及び武道場の使用禁止に伴い、代替施設を利用しなければならぬ現状においては、統合後の使用しなくなった体育館の活用が考えられ、1年先送りすることは私たち子育て世代のみならず、町民全体が不利益を生じられてしまうと考えられます。

小学校統合の議論が地域や大人の都合を基に考えられる意見が多い中で子供たちの未来を切り開く新たな教育環境を作る議論となることを望み、そして何より町執行部には白子町の子どもたちの視点で議論すること、常に町民に対し開かれた丁

寧な議論をすることを強く要望し、本案に賛成するものであります。

議員各位の賛同を賜りますようお願いいたします。

反対 大多和正夫 議員

私は、本案に反対の立場で討論します。

我が町の人口減少に伴い子供の出生が減少している中、小学校の統合は避けては通れない状況であり、小学校の統合は必要と思います。

本年1月に小学校適正配置等検討委員会より、小学校の統合は避けては通れず、統合の時期は令和11年以前が望ましいと答申された内容の報告を受け、教育委員会として令和7年2月迄に「基本方針及び基本計画策定」を進めたいと報告がありました。

しかし、教育委員会ですべての具体的な協議がされていない中「令和9年小学校統合」計画はどこで判断

されたのかも不思議であります。

今後は、子供達のために教育委員会にて、より良い教育環境を目指して具体的な協議を進め、設計に向けた具体的な仕様が決定していくと思います。

私は、教育委員会の会議で何の決定もしていない今の段階で「学校建設の設計委託の予算は計上すべきでない」と思うからです。

以上のことから、私は本案に反対いたします。



授業風景

賛成

高山 隆一 議員



南白亀小学校

私は小学校統合に賛成の立場から申し上げます。2年以上にわたり執行部の努力により、町民の60%以上の賛同が得られ、最短で令和9年度実施を目指し提出された本案に、賛成の立場から議員各位の賛同を求めるものであります。

小学校統合に皆様良くお考えの上是非とも賛同していただきたく、議員各位よりしくお願いを申し上げます。

反対

大多和正之 議員

本案に反対の立場から討論いたします。

令和6年1月10日に白子町小学校適正配置等検討委員会(榎田委員長)からの最終答申が教育長あてに出されました。

令和11年に、2学年が一緒のクラスになる複式学級になることが危惧されるため、複式学級は回避したい、との最終答申で、私も小学校統合は現状の児童数等を考え一日も早くの統合が望ましいと思います。令和6年度において教育委員会で、基本方針、基本計画が策定され統合についての方向性が決まります。

教育委員会で答申された統合時期、建設場所等が決定され、付帯意見の津波対策、道路整備、スクールバス等の移動手段の議論を行い、その後の設計委託料計上が望ましいと思うので、本案に反対いたします。

議員各位のご賛同をお願いいたします。



授業風景

反対

大多和秀一 議員

私は本案に反対の立場で討論をいたします。

今回の補正予算は今進められている小学校の統合に関するものであります。私自身は統合に賛意を持ちますが、状況を鑑みて止むを得ないという考え方です。

今回の提案は令和9年4月に統合小学校を開校するにあたり、国庫補助金の申請をするための必要書類の一部である新校

舎の設計図を作成するためのものであり、提出期限内に収めるための措置であると判断をしています。

では改めて本町の統合に向けた取り組みの進捗を見たとき、現在2力年にわたる小学校適正配置等検討委員会の、住民の目線に立ち、丁寧に進められた協議の最終答申を踏まえ、教育委員会が基本方針・基本計画の策定に取り掛かっているところです。

この後、総合教育会議、住民説明会等を踏まえて、令和7年2月の教育委員会定例会での議決を経て、統合に向けた準備がされていくようになっていきます。

3月の定例会で質疑・答弁の中にもたびたび出てきましたが、「もし統合がされた場合」という言葉でも判断できるように、統合が決定をしたのではなく、校舎の規模・位置を含め教育委員会が主体となりこれから進めていくこととなります。

したがって、小学校校舎建設設計業務は教育委員会の議決後、あるいは早くても議決が見込める時期が適当であると考えます。

子どもたちの教育の未来を見据えて、スケジュールに沿って確かな歩みが展開されますこと、合わせて統合は避けるべきと判断をされた28%の住民の方々に、深い理解と支援が得られるような基本方針・基本計画が策定されますことを教育委員会に要望し、反対討論いたします。



白湯小学校

反対
今井 滋則議員

私は、本案に反対の立場で討論します。
子供の出生が減少している中、小学校の統合は避けては通れない状況であり、小学校の統合は必要だと思います。
本年1月に小学校適正配置等検討委員会より、小学校の統合は避けては通れず、統合の時期は令和11年以前が望ましいと答申された内容の報告を受けました。また教育委員会として令和7年2月迄に「基本方針及び基本計画策定」を進めたいと



関小学校

反対
市川 隆子議員

私は、本案に反対の立場から討論します。
3月議会に続き、3小学校統合の予算が計上されました。
統合は大変大事な問題です。
町は、白子中の敷地が望ましいと言っています
が、近い将来、白子中の



説明がありました。
しかし、答申が出たのみで、教育委員会の会議で何の決定もしていない今の段階で「学校建設の設計委託の予算は計上すべきでない」と思います。
以上のことから、私は本案に反対いたします。

建て替えも視野に入れなければならないと思います。そうしますと、建設場所の問題が出てきます。プールや体育館、グラウンドも共用できるので施設費がかからないと言われます。
しかし、中学生と小学校低学年の児童が共用して危険はないのでしょうか。
また、せっかく公設公営になったことを評価していたのですが、学童も敷地のどこかに建てておけばいいというものではないと思います。これは働いている保護者にもかわってくるものです。
スクールバスの共用の問題もあります。
子供たちのために早く新しい校舎を。確かに新しい校舎になれば、きれいだし学習環境も良くなるように思われます。でも、建設してしまえば50年から60年は使用します。そのためにも、どうしても児童が安心安全な学校生活を送れるのか、建設してから考えるのでは

なく、建設する前に考えるべきだと私は考えています。
以上の観点から本案に反対するものです。



白湯小学校 体育館

以上、令和6年第1回臨時会での討論に焦点を当てて振り返ってみました。
議会議員が会議で話す話し方なので、普段接する時と感じが違うかもしれません。
議会議員に会った時に話題としてみたいかがかでしょうか。

町議会を傍聴しましょう。

次の定例会は **6月12日(水)～18日(火)**の予定です。

詳しいことは議会事務局へ。 ☎0475-33-2169
議会だより「白子の議会」についてご意見、ご感想をお寄せ下さい。